

ご担当様

ななつの思い出エピソードに応募します。

よろしく申し上げます。

私たちおばさん3人組は、子育てが一段落をした頃から、年に1回の旅行に出かけます。

1泊2日から始まり、今は2泊3日になりました。

目的地は様々であったのに、いつの間にか九州方面への旅が10年以上続いています。

おいしいものに感激し、風景に深呼吸、湯巡りで肌を磨き、時には震災応援に出かけ、

周りの家族に「また九州へ行くの！」とあきれられています。

旅行日が決定した後、行程を計画している時に「ななつ星」という豪華な列車が走っているのを思い出しました。

関西でもニュースになり、特に阪神間に住んでいる私たちにとっては、車体の色が私鉄H電車に似ていることから親近感がありました。

とはいっても時間と費用がかかる列車の旅、あの世に行くまでには「ななつ星」に乗れないだろうというのが、3人の一致した意見でした。

それなら見に行こうと計画を練り、2014年11月13日、隼人駅に前日より停車中の「ななつ星」を目がけ、私たちの旅は始まりました。

私たちが隼人駅に到着したのは発車の20分前でした。あわてて入場券を買いホームに入ると、そこは時間の流れが止まったかのような別世界でした。

ホームを歩きながら列車の先頭から写真を撮るのですが、どんな角度で試してもうまく写りません。

車体があまりにもきれいに磨かれ、汚れが一つもないどころか鏡に向かってシャッターを押しているようでした。

発車時刻が過ぎた頃、乗客の紳士が駅に現れ、ゆっくりとあわてることなく列車に乗り込みました。

どうやらその乗客を待っていたようです。スタッフののにこやかな対応など、

そんな様子を見ていると人の気持ちも時間もゆっくりとやさしく流れていく、それがこの列車の楽しみ方だと思いました。

14時8分「ななつ星」は出発時刻を少し遅れて隼人駅を出発し鹿児島へ向かいました。

遅れた8分間は私たちへのプレゼントだったかもしれません。

見送りが終わって駅を出ると「ななつ星」と同じデザインのバスが停まっており、おもてなしの徹底ぶりに感心しました。

やっぱり一度は乗ってみたい、そう思う5年前の旅でした。